

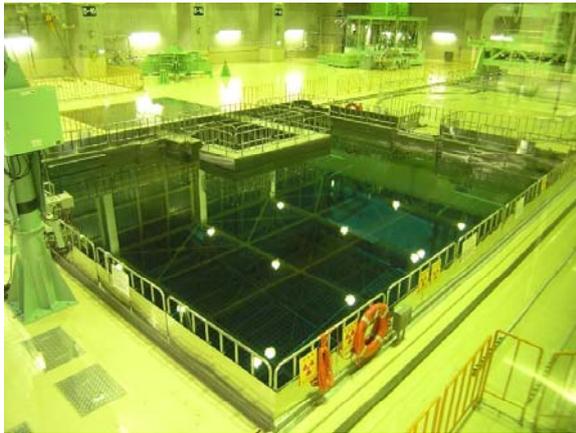
論点12. 貯蔵設備の冷却能力(その1-1)

p38

【検討課題】使用済MOX燃料の発熱量は使用済ウラン燃料に比べて大きいですが、使用済MOX燃料を保管する際、十分に冷却することができるか。

【電力の見解】現在の冷却設備で十分冷却することができる。

- ・使用済MOX燃料は、使用済ウラン燃料と同様に女川3号機の使用済燃料プールに貯蔵する。
- ・MOX燃料は、ウラン燃料に比べて原子炉内での燃焼期間が短いため、使用済MOX燃料と使用済ウラン燃料の崩壊熱は、ほぼ同等である。



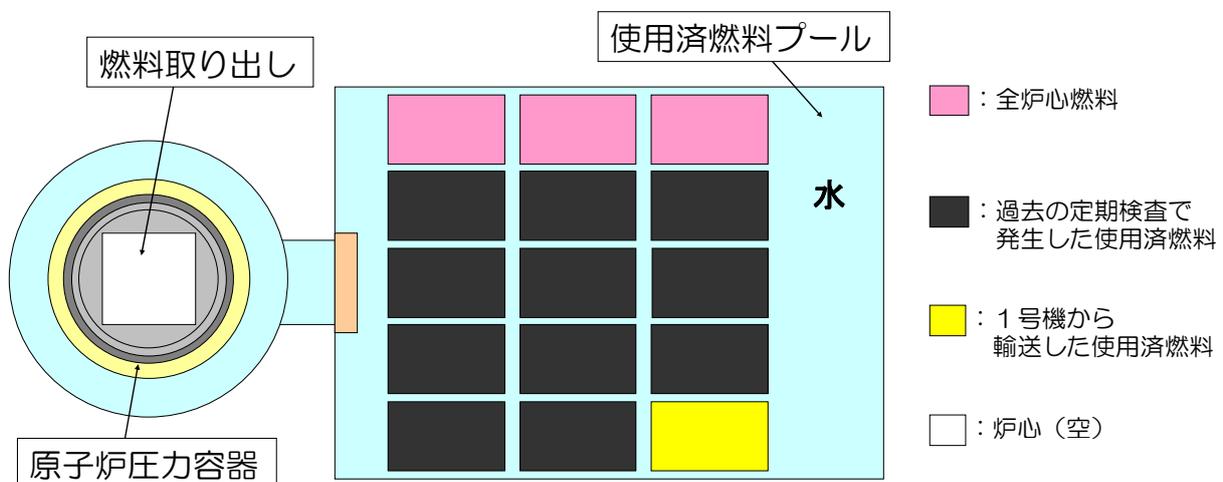
MOX燃料とウラン燃料の崩壊熱

停止後の時間	全発熱量 (kW / 体)	
	MOX燃料 (33GWd/t)	ウラン燃料 (45GWd/t)
取り出し後	9.4	8.5
1年	2.5	1.9
2年	1.2	1.0
10年	0.37	0.30
20年	0.33	0.21

論点12. 貯蔵設備の冷却能力(その1-2)

p39

- ・原子炉内の燃料を全部取り出し、使用済燃料プールが満杯になった状態(最大熱負荷時)でもプール水温をコンクリート健全性のための制限値65℃以下に保つことができる。



原子炉および使用済燃料プールにおける使用済燃料配置概略図(上から見た図)